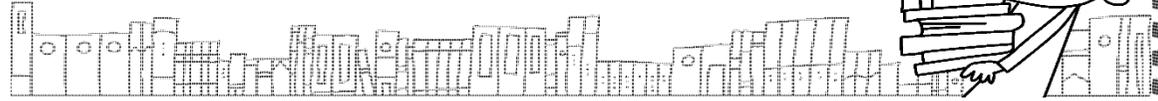
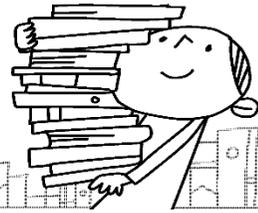


みんなでつながる わ!



今回は、6年生の研究授業の様子を紹介します。

6年生は、日本文化の魅力を伝える文章を書くために、教材『『鳥獣戯画』を読む』で評論の文構造や表現の工夫を学ぶ学習をしました。

「鳥獣戯画」を読み解き、日本文化の魅力を伝えよう!

『『鳥獣戯画』を読む』

「発見、日本の文化のみりよく」 6年生

本時の目標

- ・筆者のものの見方を伝えるための工夫や論の進め方について、考えることができる。
【思・判・表】C(1)ウ
- ・比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。【知】(1)ク

本時の流れ (本時3/10)

① めあてを立てる。

自分の評価を読者に伝えるために、筆者がどのような工夫をしているか考えよう。

② 視点ごとに分析する (個人)

【視点】・表現の工夫

- ・絵の示し方の工夫 (資料の使い方)
- ・論の展開の工夫

③ 見つけた工夫とその効果を共有し、分類・整理する。(グループ)

④ 本時の学習を振り返り、次時を見通す。

ヒントカード①

難易度 ☆

🔍 高畑さんの表現に注目してみよう!

例えば・・・
p.156 2行目 その名はなんと、かわず掛け。
→かわず掛けをしました。と表現すればよいところを技の名前で終らそう?
他にも探してみよう

ヒントカード②

難易度 ☆☆☆

🔍 資料(絵)の示し方に注目してみよう!

例えば・・・
絵巻物の最初から最後まで一気に見せていない。
資料の示し方に筆者のどんな工夫がかかっていますか?

ヒントカード③

難易度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

🔍 高畑さんの話の進め方はどうかな?

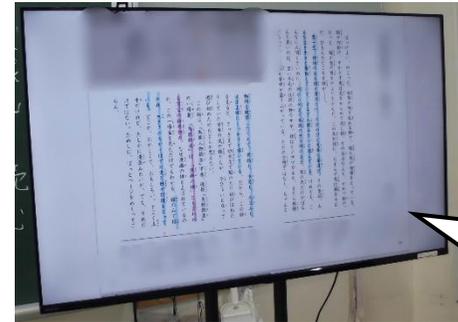
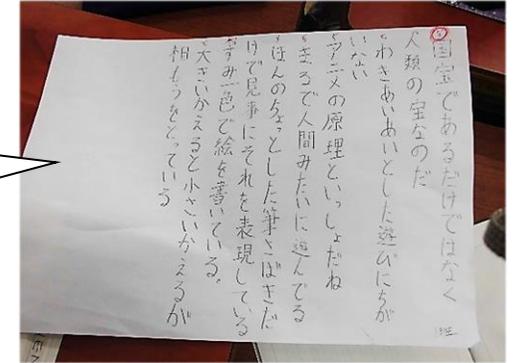
例えば・・・
大きく内容を見てみ
鳥獣戯画の説明→も
さあ、この進め方に

☆ヒントカード☆
タブレットを活用。



☆グループでの交流☆
『「ためしにぱっとページをめくってごらん。」と言われてたら、次のページをめくりたくなる。』など、読者に問いかけている言葉が多いことに気づいていました。

☆グループで交流し、まとめたもの☆
筆者の考え・評価に繋がる部分をよく捉えています。



☆モニターでの教材掲示☆
評価の中でも表現のよさや文化的なよさを色分けして、提示しています。

【研究協議より】

- ・高畑氏の表現のよいところを見つけることはできていた。
- ・ヒントカードが具体的で余計に難しく考えてしまうような感じだったので、短い言葉で出してもよかったように思われる。提示するタイミングはよかった。
- ・めあてが児童にとって難しかったのでは。
- ・モニターの本文の掲示がよかった。色分けすることで、文構造や論の進め方を捉えることができる。
- ・論の展開の工夫は、気づけていない児童が多かったが、次時の全体交流に繋げるとよい。

～授業者から～

表現の工夫、筆者の考えや評価を見つけ出したり、友だちと交流したりすることはできましたが、文の構造の工夫を捉えることが難しく感じました。ただ、学習したことを活かして、日本文化の魅力を作文する活動は、進んで取り組み、自分の考えなどを工夫して表現することができました。